

2012 年度後期 授業評価アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 6

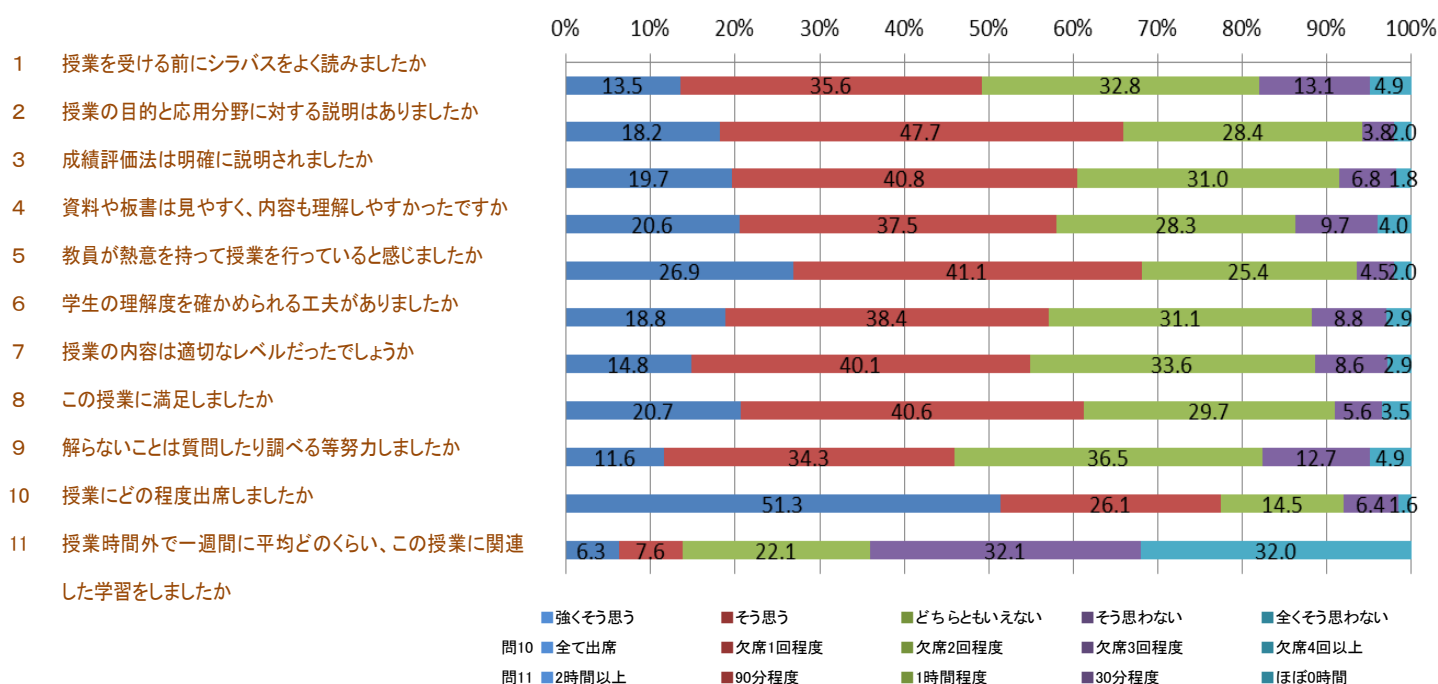
《 学生の皆さんへ 》 システムデザイン学部・研究科では 2013 年 1 月 7 日～1 月 25 日の期間、学部と研究科で後期に開講された講義科目を対象に授業評価アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。

ご協力大変ありがとうございました。

アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。
詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部

(開講授業科目数 83 のうち 74 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

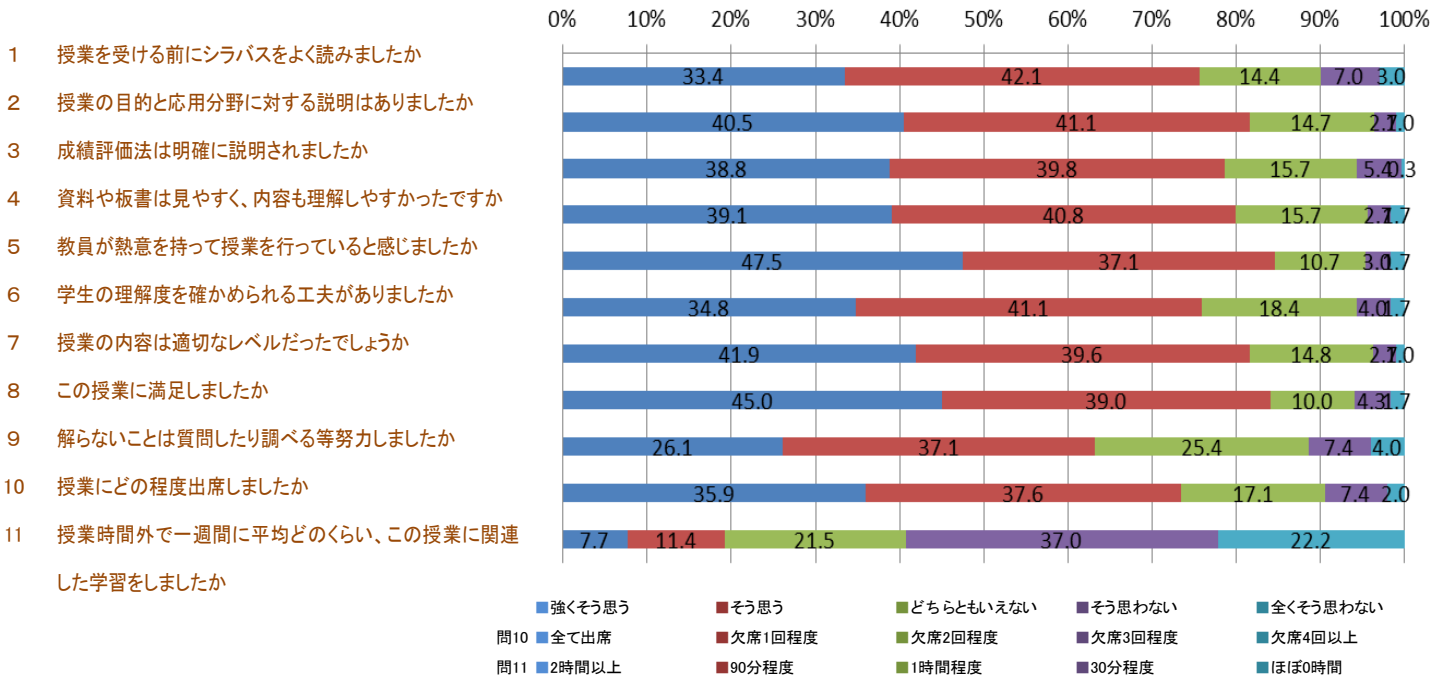
- ・受講している学生全員が発表しているので、理解度が深められた。
- ・教科書にそってない内容はもう少しプリントに補足がほしかった。
- ・問題の解答を配ってほしい。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・学問の基礎を教えると共に、実社会で用いられている応用例を示すことで、学ぶ意味を伝えています。
- ・学生とのやり取りの中から柔軟に講義内容をアレンジし、学生の集中力が高まるよう配慮しています。

システムデザイン研究科

(開講授業科目数 37 のうち 29 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・パワーポイントのスライドが見やすく、理解しやすかった。
- ・全員でディスカッションするという機会はありませんのでとても楽しく受講できました。
- ・くりかえし大切な部分の説明を行ってくださったので、しっかりと覚えることができた。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・複数の異なるタイプのレポートを課した(訳、証明、調査など)。
- ・学生が筆写に時間を取られないよう、資料等を用意した。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2012 年度後期授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回も高い回収率(学部:89.2%, 研究科:78.4%)を確保することができ、教育状況を把握し、授業改善を図るうえで貴重な情報を収集することができました。昨年度実施分から、設問 12 及び 13 に教員オリジナルの設問を設定しています。また自由記述欄からは数字では表せない実態を得ることができています。アンケート結果は科目ごとの回答者個人が特定できないような形に集計処理されたうえで、個々の教員にフィードバックされ、授業のさらなる改善の参考にさせていただきます。今年度も同様のアンケートの予定しておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2013 年 5 月 31 日